

2017(平成29)年度 沖縄国際大学入学試験問題（前期）

法律学科・経済学科・企業システム学科・社会文化学科・人間福祉学科（心理）

【選択科目：倫 理】

注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけない。
2. 入学志願票及び受験票に記入された科目を解答すること。
3. 入学志願票及び受験票に記入された以外の選択科目を解答した場合は、無効とする。
4. 筆記用具は、鉛筆（HB）または、0.5ミリのシャープペンシル（HB）に限る。
5. 問題の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
6. 問題冊子の余白等は適宜利用してもよい。
7. 試験終了後、解答した解答用紙のみを提出すること。問題冊子は持ち帰ること。

2017(平成29)年度 沖縄国際大学入学試験問題(前期)

法律学科・経済学科・企業システム学科・社会文化学科・人間福祉学科(心理) 【倫理】

※ 解答はすべて解答用紙に記入すること。

I. 次の各文を読み、(①) から (⑪) にもっとも適当な語句あるいは人名を答えなさい。
(各2点)

- (a) ロンドン生まれの哲学者・法学者であるベンサムは、いかなる行為が善であり、悪であるか判断する基準を、快楽を増大させるかあるいは苦痛を減少させるかどうかに求めた。この原理に基づいて産み出された彼の政治・倫理思想を (①) 主義という。彼は、この考えを基礎として、社会をより良くしていくことを目指した。(①) 主義の特徴は、個々人の幸福をすべて足したとき、それが最も大きくなることを意味する「 (②) 」という言葉に端的に現れていると言える。
- (b) ハイデッガーは、フッサールの (③) 学に影響を受け、それを踏まえて、存在とは何かを問い続けた。ハイデッガーは、自分自身の存在を理解している人間の在りようを「(④) (ダーザイン)」、また、世界へと投げ出され(被投性)、他者と関わりながら存在する人間の在りようを「世界— (⑤) —存在)」と名付けている。
- (c) 『否定弁証法』の著者アドルノや、『理性の腐食』あるいはアドルノとの共著『啓蒙の弁証法』の著者である (⑥) に代表されるフランクフルト学派の思想は、(⑦) 理論と呼ばれている。彼らは、特定の目的を達成するための手段として利用された道具的理性を克服し、(⑦) 的理性の復権を唱えた。また、フランクフルト学派第2世代に属し、主著に『公共性の構造転換』などがある (⑧) は、討議を経て合意を形成するプロセスを重視し、(⑨) 的行為や (⑨) 的合理性の重要性を説いている。
- (d) スイスの言語学者ソシュールに起源を持ち、レヴィ＝ストロースらに代表される (⑩) 主義という思想的立場が存在する。(⑩) 主義は、特定の事象の意味や人間のあり方を社会的ないしは文化的なシステムから把握しようとする考えである。のちに、フーコーは、(⑩) 主義に示唆を受け、理性中心主義に対する批判を展開した。その後、ポスト(⑩) 主義の思想家たちが登場し、たとえばデリダは、伝統的な二項対立的思考を問い直すために、解体と再構築を意味する「(⑪) 」という概念を唱えている。

Ⅱ. ①から⑤の哲学者・思想家にもっとも関連の深い語群を語群(ア)から(コ)のなかから選び記号で答えなさい。(各1点)

- ① カント
- ② アダム＝スミス
- ③ ミル
- ④ ハンナ＝アーレント
- ⑤ クーン

語群(ア) 発話行為 (パロール) 言語体系 (ラング) 『一般言語学講義』

語群(イ) ひと (世人 ダス＝マン) 『存在と時間』 『形而上学とは何か』

語群(ウ) 労働・仕事・活動 『全体主義の起源』 『人間の条件』

語群(エ) 快樂計算 『道德および立法の諸原理序説』 『政府論断片』

語群(オ) 神の見えざる手 『諸国民の富 (国富論)』 『道德感情論』

語群(カ) 理性中心主義 生活世界の植民地化 『権威主義的パーソナリティ』

語群(キ) 格率 コペルニクスの転回 『判断力批判』

語群(ク) 他者危害の原則 (原理) 『論理学体系』 『自由論』

語群(ケ) 科学革命 パラダイム 『科学革命の構造』

語群(コ) 文化人類学 『悲しき熱帯』 『野生の思考』

Ⅲ. 「ソクラテスの裁判」と「イエスの裁判」について述べた次の文章を読み、あとの問題に答えなさい。

1. アテナイがスパルタに敗れたペロポネソス戦争終了後、アテナイには親スパルタ政権が成立し、敗戦の原因・責任追及が行われるなか、実力主義、相対主義的傾向のソフィストや哲学者を糾弾・排除する動きが社会に登場し、ソクラテスも、そのソフィストの一人とみなされていた。

ソクラテス(前469?- 前399) を告発した3人の市民は、青年悲劇詩人、工人兼政治家、弁論家であった。ソクラテスを裁いた民衆裁判所の裁判官の数は、500人または501人であったと言われている。

有罪・無罪を決定する第1回目の投票で、281票の有罪票が集まり、ソクラテスの有罪が決定した。次の刑罰の量刑についての第2回目の投票では、ソクラテスに対する批判票が80票増加し、結局、361票でソクラテスに死刑判決が下された。

- (1) ソクラテスが聴衆(陪審員)を前にして、自分のそれまでの言動を弁護するための最後の弁論をする場面を描いた、プラトンの著した書物の題名は()と呼ばれる。()のなかにあてはまる適切な言葉を記入しなさい。(2点)
- (2) プラトンは28歳のとき、8年間師事していたソクラテスの刑死に遭遇した。以後メガラ、エジプト、シケリアなどを旅行したあと、40歳のとき南イタリアから帰国したプラトンは、アテナイ郊外に()を創立し、以後そこに居住した。()のなかにあてはまる適切な言葉を記入しなさい。(2点)
- (3) プラトンは、その著()のなかで、「洞窟の比喩」を述べている。()のなかにあてはまる適切な言葉を記入しなさい。(2点)
- (4) ソクラテスは、デルフォイの神託である「ソクラテス以上に賢い者はいない」という言葉について、それは「汝自身を知れ」ということであるが、その真意は自分は真実を知らないということを自覚しているかどうか()にある、と考えた。()のなかにあてはまる言葉を4文字で答えなさい。(2点)
- (5) 脱獄をしようとするれば出来たにも拘らず、ソクラテスは「悪法も法である」として毒ニンジンのジュースを飲んで服毒死した。あなたがもしソクラテスの立場に置かれたら、あなたは脱獄しますか、それとも刑死しますか。あなたの考えを理由を付けて60字以内で述べなさい。(6点)
- (6) ソクラテスは、反宗教的または無神論的思想を広めて若者を惑わせポリスの神を認めず社会を混乱させた一要因となったとして、死刑判決を下された。現代の日本なら考えられないほど重罰とも思われる。どうして当時のアテナイ人は、ソクラテスに対して、死刑という刑罰を科したのだろうか。あなたの考えを60字以内で述べなさい。(6点)

2. B.C.7-6 年頃、ベツレヘムという小さな村に、ユダヤ人大工ヨセフとマリアという夫婦の子としてイエスが生まれた。イエスは、およそ 30歳の頃、家を出て洗礼者ヨハネのもとに行き、ヨハネから洗礼を受け、ガリラヤを中心に彼独特の「神の国運動」とも言うべき運動を展開して、ほんの数年後には刑死した。

イエスを逮捕させたのはユダヤの祭司長や長老達であった。彼らは、イエスがユダヤのサンヘドリン(最高法院)で審判を受け、ユダヤ人権力者たちが大衆の支持のもとに、ローマ法廷でイエスが有罪判決を受け処刑されるよう画策した。

イエスの裁判は、二つの段階を経て行われたと言われている。第一段階は、大祭司カヤパとサンヘドリン議員の前でのユダヤ人による宗教裁判である。この宗教裁判では、イエスがキリストであるという証言が神を冒瀆する事になるということが問われた。大祭司はイエスに尋ねて言った。「お前は神の子、メシアなのか」。イエスは、「それは、あなたが言ったことです」と応答し、また長老たちからの同じ質問に「わたしがそうだとはい、あなたたちが言っている」と言葉を返した。イエスは、祭司長や長老たちからのどんな訴えに対しても一言も答えなかった。

夜が明けた。最高法院でイエスの死を議決した祭司達は、イエスを縛って連れ出し、ローマ皇帝から派遣されていた総督ピラトに引き渡した。当時、ローマ総督の管轄下にあったユダヤ自治王国の法廷では、死刑にする権限がなかったからである。

第二段階は、ローマによる政治裁判であった。この政治裁判では、イエスがユダヤ人の王だということがローマに対する反逆に該当するかどうか問われた。総督ピラトは、イエスを死刑にせよと裁判所前に集まった民衆の声に押されて、イエスに死刑判決を下した。

- (1) イエスの裁判については、これまで、①ユダヤ法とローマ法の手続に準拠した、また実体法上も理由ある判決を下した裁判であるという説と、②イエスは、法律によって裁判されたのではなく、一部のユダヤ人熱狂者と総督ピラトに代表される優柔不断なローマ官憲による私刑の犠牲になったという説があった。

あなたは、イエスの裁判についてどう考えますか。①か②か、それとも①でも②でもない新しい③説を主張しますか。理由を付けて、あなたの考えを 60字以内で述べなさい。(5点)

- (2) イエスの死後、弟子達は、イエスは神が人間に遣わした救世主であり、神によって復活したと信じる人々は、教団・教会を形成した。イエスの第一番目の弟子として、原始キリスト教の成立に大きな役割を果たした()は、イエスの処刑に際し、三回、「イエスを知らない」と言ったことで有名である。イエスは彼に「あなたは()で、私はこの岩の上に私の教会を建てる」と語ったことでもその名を知られている。()のなかにあてはまる適切な人名をカタカナ3文字で答えなさい。(2点)

Ⅳ. 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

われわれ日本人の祖先たちは古来より、高い山や広大な海に向かう時、それを単なる自然景観とは見なさなかった。それらには神霊や祖霊が宿る聖域として、心を正し身を慎んで敬うべき対象と考えてきた。そうした見方は多分に〔 ① 〕的な要素をもつが、それが土台となり基礎となって、日本古来の宗教思想は形成されていった。たとえば、その土地の代表的な山を神体として遙拝し、それを祭るための宗教的建物を建てて信仰するといった〔 ② 〕が各地に見られるのは、その一例である。また彼らは、死んだ祖先の霊は森や山や海に行き、そこで一定の期間を過ごした後に神になると信じ、そうした祖霊が子孫に幸福や利益をもたらすとして、信仰の対象とした。こうした信仰を〔 ③ 〕と言う。

このように、わが国の伝統的な宗教観は、(ア)自然物や祖先など、人間にとって大きな影響力、強い力を持つものをすべて神として崇拝し祭ったという特徴がある。そして、そうした神の存在形態は多種多様であり、多くの神々を同時に崇拝するという〔 ④ 〕であった。これは、唯一絶対の神を信仰する〔 ⑤ 〕と大きく異なるものである。

こうした日本古来の民族的信仰の中から、日本固有の宗教といえる〔 ⑥ 〕や日本人独特の倫理観である〔 ⑦ 〕が発展していった。それらが共通して強調するのは、自然のもつ清らかな美しさであり、それに対して欺き偽ることのない純粋さである。神聖な水につかって心身の穢れを洗い清める〔 ⑧ 〕や、身についた罪を代償物を出すことや儀式によって取り除こうとする〔 ⑨ 〕を日本人が重視して来たのも、そこから由来するものである。また、(イ)この日本古来の宗教は、後に天皇制国家が確立・発展していく中で、政治的統治や政権の権威づけの手段としても利用されていくことになる。

もっとも、5、6世紀頃に外来思想・宗教が大陸や朝鮮半島から伝えられることによって、そうした伝統的な考え方も少しずつ変化していった。たとえば、604年にわが国最古の成文法である〔 ⑩ 〕を制定した〔 ⑪ 〕は、〔 ⑫ 〕思想に基づいて組織的人間関係を説くとともに、権力者および人民の間の〔 ⑬ 〕の重要性を強調した。それとともに〔 ⑪ 〕は、自分と相手の意見が対立した時には、自分が絶対に正しく相手が間違っていると考えることを戒め、〔 ⑭ 〕思想に基づいて、人間は皆ひとしく〔 ⑮ 〕であることを自覚することを説いた。

それ以降わが国では、伝統的な在来思想と外来思想が混合された形で歴史が進んでいくことになるが、それらのいずれが主要な役割を担うかは、それぞれ時代の権力者たちによって異なる仕方で受け止められ、制度化されていった。まず、飛鳥・奈良時代にもっとも重視されたのは〔 ⑭ 〕思想である。とくに奈良時代には、(ウ)鎮護国家の考え方に基づいて、各地に国分寺などが建設された。さらに平安時代になると、中国に〔 ⑯ 〕などを派遣して、新しい〔 ⑭ 〕思想である〔 ⑰ 〕をわが国に取り入れようとした。京都の比叡山に建立された〔 ⑱ 〕は、わが国における〔 ⑰ 〕の総本山であり、後に鎌倉時代になって生み出された宗派〔 ⑲ 〕も、そこで修業した僧侶が創始したものである。

だが、江戸時代になると、状況は大きく方向転換する。江戸幕府は封建的身分秩序を強化するために、〔 ⑫ 〕思想の12世紀版である〔 ⑳ 〕を国教とし、統治を行なっていた。この政策は260年の長きにわたって続いたが、明治新政府はそれにピリオドを打ち、再び伝統的なわが国固有の宗教に回帰していった。

問1 上の文中の〔 ① 〕～〔 ②⑩ 〕の中に入るのに最も適当な語句・人名を、次の語群中から選び、記号で答えなさい。なお同じ丸数字には、同じものが入るものとする。(各1点)

【語群】

- | | | | |
|--------------------------|-------------|-----------|-----------------|
| (あ) アトミズム | (い) アニミズム | (う) 一神教 | (え) 延暦寺 |
| (お) 小野妹子 | (か) 冠位十二階の制 | (き) 憲法十七条 | (く) 古事記 |
| (け) (古) 神道 | (こ) 金剛峯寺 | (さ) 最澄 | (し) 山岳信仰 |
| (す) 儒教 | (せ) 朱子学 | (そ) 浄土宗 | (た) 聖徳太子 |
| (ち) 真言宗 | (つ) 神社 | (て) 親鸞 | (と) 清明心 |
| (な) 祖先崇拜 | (に) 多神教 | (ぬ) 天台宗 | (ね) 中大兄皇子(天智天皇) |
| (の) ^{はら} 祓い(祓え) | (は) 服従 | (ひ) 仏教 | (ふ) 凡夫 |
| (へ) ^{みそ} 禊ぎ | (ほ) 陽明学 | (ま) 和 | |

問2 下線部(ア)の神を何と呼ぶか、漢字4字で書きなさい。(2点)

問3 下線部(イ)のような統治形態を一般に何と呼ぶか、次の中から選んで記号で書きなさい。(1点)

- (あ) 共和政治 (い) 祭政一致 (う) 社会契約 (え) 神仏習合 (お) 徳治政治

問4 下線部(ウ)を30字以内で説明しなさい。(4点)

V. 次の文章を読んで、後の各問いに答えなさい。

インターネットの普及により、様々な情報を入手しやすくなり、私たちの生活は便利になった。その一方で、多くの問題も生じている。例えば、(A) インターネット上の掲示板などにおける嫌がらせや誹謗・中傷に関する問題がある。また、個人の著作物が不特定多数の人々に公開できるようになったが、不正なコピーによる（ 1 ）の侵害という問題も生じており、（ 1 ）を守ることも重要な課題となっている。近年では、コンピュータやインターネットを使いこなせる者とそうでない者との間に、雇用の機会や収入の差も生まれており、このような格差は（ 2 ）と言われている。

問1 下線Aの問題が生じやすくなる原因として考えられるインターネット上での情報発信やコミュニケーションの特徴は何かキーワードとなる言葉を書きなさい。（3点）

問2 空欄（ 1 ）（ 2 ）に当てはまる語句を書きなさい。（各2点）

問3 あなたがインターネットで情報を検索するときや、情報を発信するときに、上記の問題以外に注意すべきこととその理由について60字以内で説明しなさい。（6点）

VI. 下記の青年期について書いた文章にもっとも関連の深い人物を書きなさい。（各2点）

問1 青年を大人と子どものいずれの集団にも属さない、境界線上にいるマージナル・マンと呼んだ。

問2 著書の中で「われわれはいわば二度生まれる。一度目は生存するために。二度目は生きるために。一度目は人類の一員として、二度目は男性として、女性として」と述べた。

問3 青年期の発達課題は自我同一性の確立であると述べた。

